

## 論文審査の要旨

報告番号	甲・乙 第	号	氏名	林 若穂
論文審査担当者	主査 宮崎 章 教授 副査 市川 博雄 教授 副査 小風 暁 教授			
(論文審査の要旨)				
<p>本論文は、注意欠如多動性障害 (Attention Deficit/Hyperactivity Disorder; ADHD)をもつ成人における“心の理論” (Theory of Mind)、すなわち他者の心の状態を類推する能力を検証した。</p> <p>これまで自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder; ASD) の成人では“潜在的心の理論”が障害されていることがわかっているが、ADHD では検証されていない。昭和大学附属烏山病院を受診した ADHD 成人 24 名と定型発達の成人 18 名を対象とし、アイトラッカーを用いて誤信念課題における予測的視線計測を行った。登場人物、誤信念側、非誤信念側の 3 つの関心領域における注視時間を ADHD 群と健常群で比較したところ、両群とも誤信念側と非誤信念側で注視時間に有意差はなく、ADHD 群では健常群と同様に“潜在的心の理論”が保持されていることが示された。</p> <p>誤信念課題で評価可能な“潜在的心の理論”の有無が、成人期の ADHD と ASD の客観的鑑別指標になりうることを示した本論文には学術的価値があり、学位論文に相当すると判定した。</p> <p>論文題名 : Spontaneous Theory of Mind in Adults with Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder (注意欠如多動性障害の成人における潜在的心の理論)</p> <p>掲載雑誌名 : Psychiatry Research vol. 288, 113025, 2020 年</p>				

(主査が記載)